



(京都西南部・京都東南部)

縦板組みで、底部には径○  
三は一边約○・九mの方形  
○二から出土した。SE○  
SE○三は一边約○・九mの方形  
都城跡  
平安時代後期～鎌倉時代  
遺跡及び木簡出土遺構の概要  
遺跡の年代  
遺跡の種類  
調査担当者  
調査期間  
所在地

## 京都・平安京左京六条一坊八町

四五mの曲物が据えられていた。井戸内からは木簡とともに土師器、瓦器、白磁等が出土しており、土器類の型式からこの井戸は一世紀後半代のものと考えられている。

### 8 木簡の釈文・内容

#### (1) 「固物忌」

(171)×30×3 051

#### ・「固物忌」

木簡は下端部を欠くが、保存状態は良好である。材質は檜と思われる。

### 9 関係文献

財京都市埋蔵文化財研究所『昭和五七年度京都市埋蔵文化財調査概要』(一九八四年)  
奈良国立文化財研究所『木器集成図録 近畿古代編』(一九八五年)  
(平尾政幸)

